

# 「患者を放り投げるわけにはいかない！」

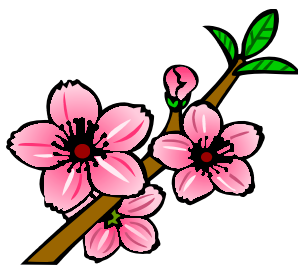
東金病院  
 整形外科  
 休診

## 病院局課長と緊急交渉

組合の要求	経営管理課長の回答
☆東金病院充実の約束を守り、整形外科休診とならないよう医師確保を ①千葉大に医師が残る施策を ②医師の抜本的な労働条件改善 ③臨床研修医制度の見直し	★県立病院としてある限り充実する。医療体制が確保できないのは県の責任である。医師確保を千葉大に頼ってきた。確保、育成に努力する。 ★千葉大には、残るようお願いしている。 ★管理職手当の支給範囲を労働実態にあわせて4月から見直したい。 ★研修医制度は、現行の枠内で地域に根ざした制度を目指している。50人のうち2人が千葉県に残る。
☆整形外科休診による患者の転院先を見つけること。	★基本的には病院対応となる。対応できない場合は見ないとわからないが、患者を放り投げるわけには行かない。
☆リハ科は非常勤医師の確保などで閉鎖でなく縮小で。	★（回復は）努力したい。リハビリ科閉鎖は東金病院の考えを尊重したい。 ★整形外科の休診は経営的にも痛い。
☆病棟再編による異動は、希望調査など本人の意思を尊重すること。	★調査の予定はない。院長等に聞くなどして対応したい。（特別な事情の場合は）あったら教えてほしい。組合を通じて意見があればあげてほしい。判断は課として行う。
☆他県では、病院や病棟閉鎖で分限処分による首切りがあるが、どうか。	★制度があり他県のこととも承知している。首切りをしないので他病院の異動となる。

二月二十五日、組合は、東金病院整形外科休診問題で病院局経営管理課長に「東金病院再建・充実を求める」要求書を提出し緊急交渉を行いました。組合は、昨年の産婦人科に続くもので、地域医療の後退につながるのと主張に「医療体制の確保は県の責任として認識している。できる限り医師確保を講じたい」と回答。また、患者の転院先に県が責任を持つべきとの要求に「基本的には病院で対応」と現場まかせに。さらに対応できない場合はどうするかと追及すると「みてみないと分からない」という無責任な回答でした。組合は、県の責任で患者を最後まで面倒をみるよう強く求めました。

また、県として東金病院は守るのかと質すと、「県立病院である限りは充実する」と回答をしました。そして、職員の雇用を守り異動に当たって本人希望を尊重することを求めると「首切りでなく異動で



# 県は患者と東金病院を守れ

ある。意見があればあげてほしい」としました。組合は引き続き、県・病院局が「東金病院を充実する」ことを求めます。そして、山武地域の住民の命と健康を守る責任を果たし、病院職員が住民の医療ニーズに応えるために安心して働けるよう運動を強めます。

東金病院問題で 職員アンケート結果に「守りたいのは医療か職員か」という意見がありました。組合は、地域医療を守るためにある県立病院を存続充実するとともに、病院に働く職員が安心して働き続けられる労働条件を整備することが大切だと考えます。今、山武地域は、医師不足による公立病院の縮小で医療崩壊が続いています。きっかけとなった東金病院の立て直しは急務です。そのためには、国が医師を増やす政策に転換し、県が「東金病院は充実する」約束を守り、真剣に医師を確保する取り組みを行い、労働条件を大幅に改善することです。そのために、組合は頑張ります。

千葉県医療施設労働組合委員長：桐谷 加代子

### 東金病院職員の声

#### アンケート結果

- ☆リハビリを開設する病院はあるが、閉鎖の話は聞かない。公立病院として患者の治りたい意識を踏み倒すようなものだ。
- ☆整形外科では困ると患者さんの声を良く聞きます。整形受診の内科患者も多い。千葉大に限らず医師を呼び再開すべきだ。
- ☆県は以前よりも増して医師確保に全力を尽くし地域医療を担ってほしい。
- ☆九十九里地域医療センター計画が白紙になった。今後病院の規模や体制がどうなるのか。先の見通しを知りたい。
- ☆他の開業医に行つた方が充実した医療が受けられる。病院存続の意義があるのか。
- ☆地域医療を維持する苦渋の選択でやむをえない。
- ☆医師の補充がない以上仕方がない。
- ☆要求して実現しても財源をどうするのか。なくなるとより縮小もやむなし。